

しくみを検討していくことが重要です。

(2) 各種産業の積極的な関与

市が掲げた高い目標値の達成にあたっては、上記のようなエネルギーに直接的に関与せずとも、間接的にエネルギーの消費削減等に結びつく技術を取り入れていくことも重要です。このような技術を市内に根付かせて温暖化防止に役立てていくとともに、市内事業者の競合優位を確保していくような取り組みも重要です。

低エネルギー型住宅の建設技術〔建設会社、工務店〕

微気象による都市のエネルギー負荷を抑えるための植栽デザイン〔造園業者〕

また、商店などは 2 章に記した「ふっさグリーン電力証書」を積極的に購入することで、市内一般家庭への新エネルギー導入促進を支援するとともに、商店街への来客増加につなげていくこともできると考えられます。このように環境・エネルギー問題とは、一見関係ないと考えがちな事業者も、経済が両立するしくみの中で活躍することが期待されるのです。

3 - 4 市民・事業者・行政のパートナーシップ

(1) 福生エネルギー市民会議

平成 16 年度の“福生市地域新エネルギービジョン”の策定に合わせてスタートした「福生新エネルギービジョン市民会議」では、市内の今後の新エネルギーの利用のあり方や具体的な導入プランを検討し、その一部は具体化しつつあります。

そして、今年度の本ビジョン策定に合わせて上記の組織を発展させたものが『福生エネルギー市民会議』です。ここでは、16年度に出されたアイディアの一つである“地域エネルギー事業”の展開可能性を議論するとともに、市全体の CO₂ 排出削減には市民、事業者の省エネ等の率先行動など、意識改革の必要性が話し合われました。特に、市民のみならず、商工会、事業者の参加も実現し、広汎な市民が意見を交わすという成果を残しています。

今後は先に記した「エネルギー・地球温暖化対策担当（仮称）」との連携によって、市内全体の CO₂ 削減目標の達成に向けた推進管理に携わっていくとともに、目標の達成に向けて普及・啓発活動等も手掛けていきます。

また、行政は市民会議と連携して、広報やホームページ、シンポジウムなどを通じて市民に情報提供を行います。